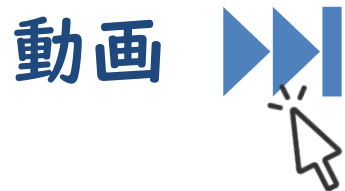


第9章 フォーム



を押しながらクリックすると別ウィンドウでYouTubeがみれる
[CTRL]キー

第9章 フォーム

フォーム

フォームとは

- ユーザーに情報を入力させるための部品です。
 - └ テキストボックス、チェックボックス、プルダウンメニューなど
- HTMLタグで作成できます。
- JavaScriptでフォームの値を取得できます。

 文法 テキストボックス

```
<input type="text">
```

 例 テキストボックスの記述

```
<input type="text" value="テスト">
```

```
テスト
```

 文法 チェックボックス

```
<input type="checkbox">
```

 例 チェックボックスの記述

```
<input type="checkbox" checked>
```




文法 ドロップダウンメニュー

```
<select>
  <option value="選択枝の値">表示する選択枝</option>
  <option value="選択枝の値">表示する選択枝</option>
  ...
</select>
```

例 ドロップダウンメニューの記述

```
<select>
  <option value="1">AAA</option>
  <option value="2">BBB</option>
  <option value="3">CCC</option>
  <option value="4">DDD</option>
</select>
```



AAA ▼
AAA
BBB
CCC
DDD

第9章 フォーム

実習

準備

- 実習の前にサポートページから本章のために用意されたひな形をインポートして下さい。

実行結果

- フォームに値を入力後、完了ボタンを押して下さい。
- alertに入力内容が表示できれば成功です。

```
console.monaca.education の内容
名前：もなか
OK
```

```
console.monaca.education の内容
自動ログイン：ON
OK
```

```
console.monaca.education の内容
言語設定：english
OK
```


実習

- scriptタグにプログラムを追記して下さい。

```
<script>
function showProfile() {
    // テキストボックスの入力値を取得
    var name = document.getElementById("name").value;
    alert("名前：" + name);
    // チェックボックスのチェック状態を取得
    var checked = document.getElementById("autoLogin").checked;
    if(checked) {
        alert("自動ログイン：ON");
    } else {
        alert("自動ログイン：OFF");
    }
    // ドロップダウンメニューのうち選択されている値を取得
    var language = document.getElementById("languageList").value;
    alert("言語設定：" + language);
}
</script>
```

実習で作成したプログラムに以下の内容を追加してみましょう。

- ・HTMLに住所を入力する欄を追加する（名前を入力するHTMLタグをコピーして、`id="name"`となっている箇所を`id="address"`としましょう）
- ・JavaScriptに住所を表示するプログラムを追加する（名前を参考に！）

入力ができたら、メニューバーの保存ボタンを押してください。保存されたら、「Web公開」して発行されたURLを進捗シートにコピーペーストしてください。